

## 第112回新生ふくしま復興推進本部会議 議事録

- 日時：令和4年4月7日（木） 15：05～15：17
- 場所：危機管理センター災害対策本部会議室（北庁舎2階）

### 【鈴木副知事】

それでは、新生ふくしま復興推進本部会議を開催いたします。

議題「令和5年度政府予算要望の進め方」について、企画調整部長。

### 【企画調整部長】

「令和5年度政府予算要望の進め方（案）」を御覧ください。

まず、県政を取り巻く環境ですが、震災から12年目に入ってもなお、解決まで時間を要する様々な課題を抱えています。引き続き、国が前面に立って、責任を持って取り組むよう強く求めるとともに、継続する課題に対して切れ目なく着実に対応し、新たに顕在化する課題や加速する風化の問題については、柔軟かつ大胆な施策に取り組むことも必要です。

また、震災以降も度重なる困難に直面し、県民の皆さんの心は折れかねない状況にありますので、多岐にわたる課題に対応するため、中長期で安定した予算の確保等が不可欠となります。

「取組方針」の基本的な考え方を御覧ください。令和5年度に予定される福島国際研究教育機構の設立、ALPS処理水や避難指示の一部解除などの国の動きを見据えながら、福島復興再生計画や新総合計画など、各部局の取組の令和5年度における推進に必要な予算を確保するため、本県の要望が政府予算に適切に反映されるよう、県庁一丸となって取り組んでまいります。

その上で大切になるのが、「現場主義」により現状・課題等をきめ細かく把握すること、また、県民等のニーズに対して関係法令・方針や計画に基づき「県政全体の課題としての的確に対応」すること、さらには、国のスケジュール等との整合性を図って「時宜を得た要望・折衝」を行い国に丁寧に説明していくことと考えております。

こうした考え方にに基づき、政府予算要望の視点として、「①原子力発電所事故への対応」はもとより、復興を更に加速するための「②避難地域・浜通りの復興再生」、「③風評払拭・風化防止対策の強化」、「④福島イノベーション・コースト構想の推進」に加え、急激な人口減少などに対する「⑤ふくしま創生に向けた取組」、これらの本県特有の5つの視点とともに、新型コロナウ

ウイルス感染症や頻発・激甚化する自然災害など、横断的な対応が必要な事項についても、本県の実情に応じて要望してまいりたいと考えております。

各部局におかれましては、こうした考え方、視点に基づき、今夏の政府要望に向けて要望事項の作り込みを行っていただきますようお願いいたします。

**【鈴木副知事】**

それでは今の説明に関して、危機管理部。

**【危機管理部長】**

廃炉に向けた取組につきまして、安全を最優先に国が前面に立って取り組むとともに、ALPS処理水につきましては、行動計画に基づく「情報発信の充実強化」や「信頼性・客観性・透明性の高い環境モニタリングの実施」など、万全な対策を講じるよう求めてまいります。

また、先月16日の福島県沖を震源とする地震の被害につきましては、災害救助予算の十分な確保と一部損壊の被災住宅に対する県独自支援への財政措置について、国に求めてまいります。

**【鈴木副知事】**

風評・風化戦略担当理事。

**【風評・風化戦略担当理事】**

ALPS処理水に伴う新たな風評への懸念に対し、昨年末に策定された行動計画に基づき、国内外への正確な情報発信や水産業を始め農林業、観光業等に対する万全な風評対策に責任を持って取り組むよう求めてまいります。

また、行動計画の実施状況を踏まえ、更なる支援や取組の拡充を必要とする施策の追加及びそれに伴う予算措置について、しっかりと求めてまいります。

**【鈴木副知事】**

避難地域復興局。

**【避難地域復興局長】**

避難地域の復興につきましては、避難解除地域の生活環境整備や帰還困難区域における拠点整備により、安心して帰還することのできる環境づくりを進めるとともに、避難者の安定した生活の確保、生活再建の支援はもとより、移

住・定住の促進や交流・関係人口の拡大を図るために必要となる予算や施策について、しっかりと国に求めてまいります。

**【鈴木副知事】**

生活環境部。

**【生活環境部長】**

環境回復の取組につきましては、帰還困難区域の除染等や除去土壌等の県外最終処分に向けた取組など、国が責任をもって確実に実施するよう求めてまいります。

また、「ふくしまグリーン復興構想」の実現や復興と共に進める地球温暖化対策など、環境省との協定に基づく未来志向の環境施策の更なる推進に向けて必要な予算措置などを求めてまいります。

このほか、野生鳥獣対策や地域公共交通の確保等、県民生活の安定・向上を図るための予算措置を求めてまいります。

**【鈴木副知事】**

保健福祉部。

**【保健福祉部長】**

被災者の心のケア、健康不安の解消、医療・介護の提供体制の整備など、被災者に寄り添った支援を継続していく必要があるため、十分な財源措置や制度となるよう求めてまいります。

また、新総合計画及び保健福祉医療復興ビジョンにおいて掲げた医療・介護人材の確保などに必要な予算についても、求めてまいります。

また、新型コロナウイルス感染症対策につきましては、包括支援交付金の確実な予算措置及び適用範囲の拡大など、柔軟な対応を国に求めてまいります。

**【鈴木副知事】**

商工労働部。

**【商工労働部長】**

長期化する新型コロナにより影響を受ける事業者への支援や雇用の確保等について、必要な予算を確保してまいります。

特に、被災12市町村の事業・生業の再生支援を始め、福島ロボットテストフィールドの運営や再生可能エネルギー、医療関連産業等の次世代産業の集積や振興に必要な予算の確保を求めてまいります。

なお、3月に発生した地震に関し、グループ補助金が適用されるよう、調整を進めてまいります。

**【鈴木副知事】**

農林水産部。

**【農林水産部長】**

避難地域等を始めとする本県農林水産業の復興は、未だ途上にあり、営農再開の更なる加速化や森林の整備、漁業の本格操業拡大に向けた予算の確保に努めてまいります。

また、根強い風評の払拭に向けて、今年度からスタートした新しい計画に基づく「福島ならではの」農林水産業を着実に実現していくため、生産力・競争力の強化に必要な予算の確保にもしっかりと取り組んでまいります。

**【鈴木副知事】**

土木部。

**【土木部長】**

インフラの整備についてでございます。避難者の帰還や県土の骨格を担う「ふくしま復興再生道路」など各種道路の整備や、河川の流域全体で取り組む流域治水、また、先月の地震災害の早期復旧を含めた度重なる自然災害への防災・減災対策、さらに、脱炭素社会の実現に向けた小名浜港カーボンニュートラルポートの形成や地方創生のためのインフラ整備等について、必要となる財源の確保や国の支援を要望してまいります。

**【鈴木副知事】**

警察本部。

**【警察本部】**

復興に向けて歩み続ける福島を治安面から力強く支えていくため、被災地域の治安の維持及び交通の安全確保に必要な予算の確保について、引き続き、要

望してまいります。

また、頻発・激甚化する自然災害への備えとして、警察が求められる機能・役割を果たすため、緊急時の治安施設としての警察学校の早期建替のほか、警察用航空機の配備についても必要な予算を要望してまいります。

**【鈴木副知事】**

教育庁。

**【教育長】**

子どもたちを誰一人取り残さない、一人一人が主役となる教育の実現に向け、教職員の加配やスクールカウンセラーの配置継続等を要望してまいります。

また、福島イノベーション・コースト構想に係る人材育成や震災の教訓の継承など「福島ならではの」の教育を推進するために必要な予算措置を求めてまいります。

**【鈴木副知事】**

ほかにありますか。

なければ、「令和5年度政府予算要望の進め方」については、原案のとおり決定することといたします。

知事からお願いします。

**【知事】**

福島県は、東日本大震災、原子力災害、各種自然災害といった複合災害からの復旧・復興、そして、急激な人口減少対策としての地方創生、こういった重要な課題を我々は持っています。

それを解決するために大切なことは、制度を構築することと、財源を確保することです。

特に令和4年度は、新しい総合計画の初年度でもあります。2030年の将来の姿を実現していくためには、最初の1年間、スタートダッシュの1年間の取組が重要です。

部局長の皆さんにおいては、新しい総合計画を常に意識をしながら、切れ目なく着実に、復興と地方創生を前に進めるため、あらゆる機会を捉えて、国に対して、福島の現状を丁寧に説明するとともに、スピード感を持って関係省庁との協議を進めてください。

新年度に入りました。継続している部局長もおられますし、ポジションが変わる、あるいは、新しく就任した方もおられます。

まず大切なことは、自分が関係する各省庁のカウンターパートとなる方との信頼関係の構築です。

その際、新型コロナウイルスの状況もありますが、ハイブリッドでの対応が必要です。ある程度リアルで顔を合わせて名刺交換をし、こういった課題があるかということを通じて直接お話しすることも重要です。また、メール、電話等を活用しながら、リモートで丁寧に説明をすることも重要です。

政府予算概算要求前に要望書を持っていくだけで実現するということはありませんので、まずこの4月から、どれだけ相手方と幾度も協議を重ねていくのか、そして、その関係の中で信頼を構築できるか、これが勝負になります。

まだ自分のカウンターパートの方と連絡が取れていない方は、東京に行って話しをすることも大切です。あるいは、相手の方々に実際に福島に来ていただいて、現状を見ていただくのも重要です。そういった提案を試みるのも良いかと思います。

いずれにしても、県民の皆さんが望んでいる施策を実現するためには、政府と時に協議をし、また一方で、お互い合意を得ながら、その中で制度を作り上げる、あるいは財源を確保する。これが極めて重要です。そういった点をぜひ頭に入れながらこれからの政府要望にしっかり取り組んでください。

#### 【鈴木副知事】

以上で、新生ふくしま復興推進本部会議を閉じます。